

018

## 折り畳み式災害用給水タンク「ホリフトウォーター」の開発

取組主体

堀富商工株式会社

従業員数

想定災害

実施地域

85人

全般

全国・  
ウクライナ

東日本大震災での断水経験から、容量 1,000 リットルの折り畳み式給水タンクを開発し、災害時の給水活動の効率を高めることを可能にしている。

### 1 取組の概要

- 産業用の包装資材の開発と販売を行う堀富商工株式会社は、同社の持つ物流資材開発のノウハウを活用して、容量 1,000 リットルの災害用折り畳み式給水タンク「ホリフトウォーター」を開発した。「ホリフトウォーター」は、不要な時にはコンパクトに折り畳み、必要になったら組み立てて水をため、付属の蛇口などから必要量を給水できる非常用のタンクで、生活用水、飲料水の両方の給水に利用することが可能である。
- あらかじめ避難所などに備蓄した「ホリフトウォーター」を活用することで、給水活動の効率を飛躍的に高めることができる。給水車から 1,000 リットルの給水タンクに水を移すスピードは3分程度であるので、給水車が各避難所を巡り、それぞれの給水タンクに順次水を移していくことで、短時間で給水ポイントを増やすことが可能となる。これにより、複数箇所でも同時に多くの人が給水を受けることができる。
- 同社は、被災地現場へ実際に赴き「ホリフトウォーター」を設置する給水支援活動を、長年行っている（2016年熊本地震、2024年能登半島地震など）。この「ホリフトウォーター」は、そうした給水支援活動時に現場で必要とされる機能をヒアリングしながら、製品としての改善を繰り返し、現在の形となった。具体的な改善策としては、スピーディーな給水のために蛇口金具（配管）の内径を2倍にするなどの改良を行っている。
- 近年の日本は、地震だけでなく異常気象による豪雨などでも頻繁に断水が起きている状況であり、断水発生時には備蓄されている「ホリフトウォーター」が実際に活用される事例が多くなっている。能登半島地震の際も、「ホリフトウォーター」は被災地各所で給水活動に使用された。



組み立て前

組み立て後

災害用給水タンク「ホリフトウォーター」

### 2 取組のきっかけと想い

- 大阪に本社を構える同社は、BCP（事業継続計画）対策および取引先へのスピーディーな供給を目的として、福島県にも製造本部生産拠点を開設していたが、東日本大震災で同拠点が被災した。震災発生直後は水道、ガス、電気が全て停止したが、特に水道の復旧には最も時間を要し、地域全体での復旧には約1か月を要した。水は生きていくために絶対不可欠なライフラインであり、飲料水としてだけでなく、衛生面においても極めて重要である。被災地では水が不足すると生活が著しく困難になることを痛感した。
- この体験を機に、同社は従来取り扱っていた段積み可能な折り畳み式物流コンテナ「ホリフトシステム」を応用し、災害用折り畳み式給水タンク「ホリフトウォーター」の開発を開始し、被災地での給水環境改善を目指した。

### 3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

#### 軽量コンパクトな設計

- 折り畳み式であり、備蓄時に多くのスペースを必要としない。また、シンプルな構造のため、組立てが非常に簡単であり、2人で5分程度で組み立てることができる。

#### 衛生的な構造

- 組み立てるまでタンク内側が密閉され外気に触れない構造になっているため、清潔な状態が保たれ衛生的である。

## 国土強靱化

### 高い耐久性と機動性

- ・シンプルな構造の折り畳み式であるにもかかわらず、満水状態でトラックの荷台に積んで輸送可能な強度を持つ。これにより、簡易給水車としての利用も可能となり、より機動力のある給水活動が実現する。



組立ての様子



簡易給水車としての利用

## 4 取組の効果

### 能登半島地震における支援

- ・能登半島地震においては石川県羽咋市（はくいし）の要請により「ホリフトウォーター」3台を羽咋市すこやかセンターに設置した。3台で3,000リットルの水を効率的に給水することが可能となり、同センターは給水所として活用された。
- ・同様に、石川県七尾市においても中島中学校・中島地区コミュニティセンターに2台を設置し、近隣の方々に給水所としてご利用いただいた。

### 国内外での導入実績

- ・近年では、各自治体の防災計画に基づき、いざというときの備えとして各避難所に「ホリフトウォーター」を備蓄するケースが増えている。さらに、国内での長年にわたる給水支援活動や自治体での採用実績が実を結び、2023年には日本政府のウクライナ支援物資の一つとして採用された。実際の給水活動に使用している状況も報告されており、初めて現物を見る現地のウクライナの方々でも簡単に組み立てることができたという。また、軽量で運びやすかった点も評価された。

### 利用者の声

- ・「トイレを流したり、作業後にドロドロのブーツの底を洗ったりする際に、ペットボトルの水を利用して流すのはどうしてももったいないと思ってしまい抵抗感があった。その点、大きな1,000リットルのタンクで水を運んでいただければ、生活用水としても気兼ねなく使うことができ非常に助かる」（利用者）

### 担当者の声

- ・被災地での状況を実際に見るたびに、災害が起きてから動くのでは遅いと毎回感じます。能登半島地震における給水活動でも、備蓄している給水タンクの数が少なかったため、近隣の県で備蓄しているタンクを救援物資として急きよ被災地に送るといったケースが散見されました。事前に被災地に必要数の給水タンクが備蓄されていれば、よりスピーディーな給水活動が可能だったはず。災害時における給水タンクの備えは非常に大切であることを伝え続けていきたいと思えます。

### 問合せ先

堀富商工株式会社 法人番号：1120101006701  
電話番号：072-241-3821  
FAX：072-241-3822

### 動画



### サイト URL

